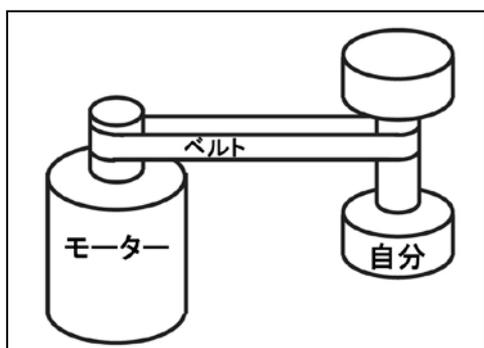


22 ディボーション

ディボーション（祈り、聖書、ノート、御言葉の実行）。ディボート→「献げる」。

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい」（ローマ12:1、2）。



「あなたの宝のある所には、心もあるからである。」（マタイ6:21）

私たちが何を「宝」にするか？それによって私たちの気分や行動は支配され、動かされるのです。何を「宝」とするか？それは、私たちがどのようなモーターとつながっているかを表します。それによって私たちの人生が決まってきます。

毎日が前提。週に一度のヒット！月に一度のホームラン！！

霊的食物

「肉体の健康のためにこの世の食物が必要であるように、日々の祈りは、恩恵の中に成長するためにも、また霊的生命そのもののためにも必要です」（『青年への使命』108）。

真空状態はありません。御言葉を心に宿さなければ、自動的に別のものが入ってきます。私たちの心を養うのは御言葉。別のもので養うのは危険です。

霊的力

「われわれは、神が心に語られるのを個人的に きかねばならない。ほかの音がみな沈黙して、静けさのうちに神の前に待つとき、魂の静寂は神のみ声を一層明らかにする。神は、『静まって、わたしこそ神であることを知れ』とわれわれに命じておられる（詩篇46:10）。ここにだけ真の休息がみいだされる。これこそ神のために働くすべての者にとって効果的な準備である。あわただしい群衆の中であって、人生の激しい活動の緊張のうちであって、このように活気づけられた魂は、光と平和の雰囲気にとりかこまれる。その生活はかぐわしい香りを放ち、人々の心に達する神の力をあらわすのである」（各時代の希望中101,102）。

目的

Q. ある人は「満たされたら伝える」と言う。満たしと、使命、どちらが先ですか？

「恵みを絶えず新たに受けている者たちだけが、日常の必要に応じて、また力を用いる彼らの能力に応じて、力を受けるであろう。霊的な力が特別に賦与されて、やがて救霊のために驚異的な装備を受ける時が来るのを待ち望むのではなく、彼らは、神の御用にふさわしい器としていただくために、日ごとに神に従っている。彼らは手の届く範囲にある奉仕の機会を毎日利用している。家庭の地味な仕事をしていても、あるいは、有用な社会の職場にいても、どこでも彼らは主のためにあかしを立てている」（『患難から栄光へ』上 52 頁）。

「キリストのくびきを負うことが、キリストの力を受ける第一の条件である。教会の生命そのものは、教会が主の任命を忠実に果たすことにかかっている。この働きをおろそかにすれば、そこにはかならず霊的な弱さと衰えが生じる。人々のための活動的な働きがないところでは愛は衰え、信仰は弱くなる」（『各時代の希望』下 373-374 頁）。

「神は、罪人を救うのにわれわれの助けがなくても、目的を達することがおできになったのである。だがわれわれがキリストのような品性を発達させるためには、キリストの働きにあずからねばならない」（『各時代の希望』上 163 頁）。

「弟子たちは、福音が世に宣べ伝えられなければならないことを悟って、キリストが約束された力を求めたのである」（『患難から栄光へ』上 31 頁）。

霊的パッケージ

- ① 良い書物をよく読む
- ② 心を燃やす人々と交わる
- ③ 教会で起きた問題をできるだけ早く解決する
- ④ デイポーションの時間を大切にする